

「今後の大戸川治水に関する勉強会(第3回)」に対していただいたご意見・ご質問

No	ご意見・ご質問	滋賀県の回答
1	<p>大戸川ダム効果が判明した上での下流府県(関西広域連合)との調整を進めてください。</p>	<p>勉強会での検証結果については、国や下流府県に伝えてまいります。</p>
2	<p>大戸川ダムの議論のなかで気になることは、ダムの上流にある町、信楽のことです。普通ダムの上流にある村が水没する話がありますが、大戸川ダムの上流に残る町について議論されることがないように思います。</p> <p>平成25年の台風では、信楽では大きな被害がありました。信楽町内を流れる河川は、地域の地質の特徴で大雨の度に土砂を運び川床が上がります。国道307号や、県道大津信楽線沿いの河川の状況を見ると、ダムで水を止めた時、信楽の市街地の水は下流に掃くことなく、河川から溢れでるのではないかと心配になります。</p> <p>堆積する土砂が多く川床が高いことに対する対策や、台風時に下流のために放流を止めた時、上流の市街地に洪水被害について検証していただくことをお願いします。</p>	<p>大戸川ダムを整備し、仮にダムが満水になっても上流域に影響を与えることはありません。</p> <p>大戸川ダム予定地の上流域についても、治水安全度を高めていくことは大変重要な課題です。特に堆積土砂が多い大戸川では、浚渫など重点的な維持管理に努めております。</p>
3	<p>行政側からしたら色々問題があると思いますが、大戸川ダムの必要性を数値化する事によって、大戸川ダムの必要性がより具体的に成ると思います。(例)100点満点で90点とか...もちろん文章表現も大戸川ダムの必要性が実感出来ますけど。</p>	<p>勉強会では大戸川ダムの治水効果や影響を定量的に評価するよう努めました。</p>